

子家庭や父子家庭、寡婦の経済的自立と生活の安定、こどもの福祉を図るために、無利子または低利子で各種資金の貸付を行う事業の会計です。

資産の部では、母子父子寡婦福祉貸付金事業に係る「短期貸付金」及び「長期貸付金」が、資産総額の約9割を占めています。

資産総額は、前年度に比べ「現金預金」、「短期貸付金」及び「長期貸付金」の減少などにより、151百万円減少（[R元]2,331百万円 [R2]2,180百万円）しています。

負債の部では、母子父子寡婦福祉貸付金事業における貸付金原資に関する「地方債」が、負債総額の全体を占めています。

負債総額は、前年度に比べ「地方債」の減少により、120百万円減少（[R元]2,109百万円 [R2]1,988百万円）しています。

資産（資産総額 - 負債総額）は、30百万円減少（[R元]222百万円 [R2]191百万円）しています。

(単位：百万円)

12

行政コスト計算書(母子父子寡婦福祉貸付資金会計)

経常的な行政サービス提供コストである経常費用には、「他会計への繰出金」（一般会計への繰出金）や母子父子寡婦福祉貸付金事業に係る「貸倒引当金繰入額」などがあり、これらで経常費用の約7割を占めています。
前年度に比べ「他会計への繰出金」の減などにより、50百万円減少（[R元]94百万円 [R2]43百万円）しています。
経常収益では、「他会計からの繰入金」や「その他経常収益」がほぼ全体を占めています。
前年度に比べ「他会計からの繰入金」の減などがあるものの、「その他経常収益」の増などにより、1百万円増加（[R元]11百万円 [R2]12百万円）しています。
その結果、経常収支差額は前年度に比べ52百万円増加（[R元]▲82百万円 [R2]▲30百万円）しており、臨時的な損失や利益による特別収支差額が0円のため、当年度収支差額は経常収支差額と同額となっています。

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日 (単位:百万円)

①【物件費】 他の科目に属さない消費的性質のコスト		
・主な内訳	前年度比	
委託料	5百万円	(+1百万円)
役務費	2百万円	(▲0百万円)

②【貸倒引当金繰入額】 令和2年度末の貸倒見積高の増加によるコスト又は不要額の戻入		
---	--	--

③【他会計への繰出金】 一般会計や公債費会計への繰出にかかるコスト		
・内訳	前年度比	
母子父子寡婦福祉貸付資金の 原資の償還に伴う一般会計への繰出	60百万円	(▲48百万円)

	令和2年度	令和元年度	増減額		令和2年度	令和元年度	増減額
【経常費用】	43	94	▲ 50	【経常収益】	12	11	1
給与関係費	3	1	1	市税	-	-	-
賞与引当金繰入額	-	-	-	地方譲与税	-	-	-
退職手当引当金繰入額	-	-	-	交付金	-	-	-
				地方特例交付金	-	-	-
				地方交付税	-	-	-
① 物件費	9	10	▲ 0	保険料	-	-	-
維持補修費	-	-	-	分担金及び負担金	-	-	-
減価償却費	-	-	-	使用料及び手数料	-	-	-
支払利息及び手数料	-	-	-	国・府支出金	-	-	-
貸倒損失	-	-	-	④ 他会計からの繰入金	5	7	▲ 2
② 貸倒引当金繰入額	▲ 30	▲ 26	▲ 3	棚卸資産売却収入	-	-	-
損失補償等引当金繰入額	-	-	-	受取利息及び配当金	0	0	▲ 0
棚卸資産売却原価	-	-	-	⑤ その他経常収益	7	3	3
扶助費	-	-	-				
負担金・補助金・交付金等	-	-	-				
③ 他会計への繰出金	60	108	▲ 48				
その他経常費用	-	-	-				
【経常収支差額】					▲ 30	▲ 82	52
【特別損失】	-	-	-	【特別利益】	-	-	-
資産除売却損	-	-	-	資産売却益	-	-	-
災害による損失	-	-	-	資産受贈益	-	-	-
貸倒損失	-	-	-				
出資金評価損	-	-	-	事業再編等に伴う移転損益	-	-	-
事業再編等に伴う移転損益	-	-	-	その他特別利益	-	-	-
その他特別損失	-	-	-				
【特別収支差額】					-	-	-
【当年度収支差額】					▲ 30	▲ 82	52

④【他会計からの繰入金】 一般会計からの繰入金による収益
⑤【その他経常収益】 貸付金の遅延利息に係る違約金収入

キャッシュ・フロー計算書(母子父子寡婦福祉貸付資金会計)

行政サービス活動収支差額は0円となっており、前年度と比べて増減ありません。

投資活動収支差額は81百万円のプラスとなっています。

前年度に比べ新規貸付金額の減による「貸付金支出」の減などにより、15百万円増加（[R元]66百万円 [R2]81百万円）しています。

投資活動収支差額のプラスによって、地方債の償還等の財務活動を行っていることがわかります。

行政サービス活動収支差額0円と、投資活動収支差額81百万円及び財務活動収支差額▲181百万円を合わせると、当年度現金預金増減額は▲100百万円となっています。

なお、地方債の償還については、その収支を管理する公債費会計への繰出をもって地方債償還金支出としています。

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日 (単位:百万円)

【行政サービス活動によるキャッシュ・フロー】
投資活動及び財務活動以外の取引によるキャッシュ・フローを記載する区分

①【他会計からの繰入金収入】
一般会計からの繰入金による収入

②【その他行政収入】
貸付金に係る違約金収入

③【物件費支出】
他の科目に属さない消費的性質の支出
・主な内訳
委託料 5百万円 (前年度比 +1百万円)
役務費 2百万円 (▲0百万円)

	令和2年度	令和元年度	増減額		令和2年度	令和元年度	増減額
【行政サービス活動収入】	13	11	1	【投資活動収入】	256	255	1
市税収入	-	-	-	資産売却収入	-	-	-
地方譲与税収入	-	-	-	基金繰入金(取崩額)	-	-	-
交付金収入	-	-	-	④貸付金回収元金収入	256	255	1
地方特例交付金収入	-	-	-	他会計からの繰入金収入	-	-	-
地方交付税収入	-	-	-	保証金等返還収入	-	-	-
保険料収入	-	-	-	その他投資活動収入	-	-	-
分担金及び負担金収入	-	-	-	【投資活動支出】	175	189	▲13
使用料及び手数料収入	-	-	-	固定資産取得支出	-	-	-
国・府支出金収入	-	-	-	基金積立金	-	-	-
①他会計からの繰入金収入	5	7	▲2	出資金支出	-	-	-
棚卸資産売却収入	-	-	-	⑤貸付金支出	175	189	▲13
受取利息及び配当金収入	0	0	▲0	他会計への繰出金支出	-	-	-
②その他行政収入	7	3	3	保証金等支出	-	-	-
【行政サービス活動支出】	13	11	1	【投資活動収支差額】	81	66	15
給与関係費支出	3	1	1	【財務活動収入】	-	-	-
③物件費支出	9	10	▲0	地方債収入	-	-	-
維持補修費支出	-	-	-	借入金収入	-	-	-
支払利息及び手数料支出	-	-	-	他会計からの繰入金収入	-	-	-
扶助費支出	-	-	-	その他財務活動収入	-	-	-
負担金・補助金 ・交付金等支出	-	-	-	【財務活動支出】	181	326	▲144
他会計への繰出金支出	0	0	▲0	⑥地方債償還金支出	120	217	▲96
その他行政支出	-	-	-	借入金償還金支出	-	-	-
【行政サービス活動収支差額】	-	-	-	リース債務償還金支出	-	-	-
【当年度現金預金増減額】	▲100	▲259	159	⑦他会計への繰出金支出	60	108	▲48
				その他財務活動支出	-	-	-
				【財務活動収支差額】	▲181	▲326	144

【投資活動によるキャッシュ・フロー】
固定資産の取得及び売却、金融資産の取得及び売却等によるキャッシュ・フローを記載する区分

④【貸付金回収元金収入】
貸付金を回収したことによる収入
・内訳
前年度比
母子福祉貸付金 246百万円 (+4百万円)
父子福祉貸付金 0百万円 (▲0百万円)
寡婦福祉貸付金 11百万円 (▲2百万円)
・増減: 貸付金の償還の増により、前年度に比べ1百万円増加しています。

⑤【貸付金支出】
貸付に関する支出
・内訳
前年度比
母子福祉貸付金 167百万円 (▲12百万円)
父子福祉貸付金 1百万円 (▲1百万円)
寡婦福祉貸付金 6百万円 (+0百万円)
・増減: 新規貸付金額の減により、前年度に比べ13百万円減少しています。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】
資金の調達及び返済によるキャッシュ・フローを記載する区分

⑥【地方債償還金支出】
地方債の償還による支出
・増減: 地方債償還の減により、前年度に比べ96百万円減少しています。

⑦【他会計への繰出金支出】
一般会計や公債費会計への繰出金支出
・内訳
前年度比
母子父子寡婦福祉貸付資金の
原資の償還に伴う一般会計への繰出
60百万円 (▲48百万円)